

ワーク中心

プログラム番号 2302C

大学で地域課題解決に関わる教職員のためのエンパワーメント手法入門 ー地域課題の抽出と解決に向けての合意形成づくりー

■講師

前田 真（愛媛大学 社会連携推進機構 教授 地域連携コーディネーター）

昭和52年3月広島工業大学工学部建築学科卒，平成4年7月邑都計画研究所設立，平成17年特定非営利活動法人まちづくり支援えひめ設立，それぞれの代表を務め，平成27年1月より愛媛大学社会連携推進機構にて地域連携コーディネーター就任。起業してから24年間にわたって地域活動や市民活動の社会的起業支援を実施してきて，まちづくり松山，お城下松山（松山市），まちづくり郡中（伊予市），川津南やちっみる会（西予市），シクロツーリズムしまなみ（今治市），河辺の未来を考える会（大洲市），西予市まちづくりアドバイザー，松山市コミュニティアドバイザーに就任する等のまちづくり組織の設立，運営支援に参画。

■プログラム概要

急速な人口減少，超高齢社会，少子社会，商店街に象徴される商業の衰退，地場産業の衰退など，地方は大きな転換点にさしかかっている。それらを打開するために，「地方創生」が叫ばれている。この地方創生の実現に向けては，各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な地域づくりが求められる。

大学においては，地域における課題解決への対応とそれに資する人材の育成が求められています。今回の講義では，地域課題の把握，解決に向けてのノウハウ取得と解決に向けた担い手づくりとして，地域住民をエンパワーメントしながら，多様な団体を巻き込んだ協働型事業の構築，合意形成に向けたマルチステークホルダープロセスの手法について，グループワークによる模擬的な演習を通して学びます。

この研修では，参加者の皆さんが日常的に経験している事例やそこに見られる工夫等もお互いに共有して行きたいと考えています。

■主な受講対象

1. 地域の課題抽出や課題解決に向けて地域住民をエンパワーメントすることに係わった経験の少ない教員の方を歓迎します。
2. 地域創生センター等の地域との連携事業に携わっている教職員。
3. 地域の課題解決や活性化に向けての活動に興味のある教職員。

■本プログラムの到達目標

1. 地域の課題について説明できる。
2. 地域の強みや弱みについて説明できる。
3. 地域の課題解決に向けた一つのエンパワーメント手法についてわかる。

■日時・場所

日時：平成29年8月23日（水）13：00～15：00

場所：徳島大学常三島キャンパス